

事 業 報 告 書

平成 23 年 3 月、東北地方を襲った東日本大震災、いずれやって来ると言われている「南海トラフ地震」。理事・監事・地区福祉委員会（委員長・事務局長）を対象に 11 月に宮城県石巻市を訪ね、観光協会ボランティアガイドによる当時の説明と復旧・復興に向けていたるところで開発が進む市内地を見学。石巻市社会福祉協議会においては、来るべき災害に備え「第 1 次地域福祉活動計画」に盛り込んだ、災害ボランティアセンターの立ち上げと平時からの訓練が成果をあげた報告を聞き、参加者全員が災害意識の高揚を図ることができた。

平成 7 年度から地区福祉委員会が活動母体となり取り組んでいる「小地域ネットワーク事業」については 20 年目を迎える地区（5 地区）があり、2 月に開催した活動報告集会において、市長より 20 年間継続して活動に取り組んだ 43 名の人たちに感謝状が贈られた。

また、CSW（コミュニティソーシャルワーク）事業については管理者として 3 法人と毎月 1 回 CSW 連絡会や大学講師を交えたスーパーバイズ会議を開催し資質向上と連携強化を図った。

災害時事前登録事業については、登録員の資質向上を目指し、一輪車やスコップを使い土裏作り等を体験する研修会を実施した。

ボランティアセンター事業については、サロン・ド・ボランティアを核とし需給調整を行い、新規のボランティアを確保するための「ボランティア入門講座」やすでに登録しているボランティアの資質向上のための「ステップアップボランティア講座」等も開催した。

昭和 53 年からスタートした給食サービス事業については、介護保険の導入や民間業者が宅配サービスに参入するなかで利用者が減少していたところ、協力いただいた調理配達施設の撤退により給食サービス事業を 3 月末をもって終了した。

地域包括支援センター事業については、高齢者の包括的な事業として、年々増加する高齢者虐待や困難事例への支援をはじめ、ケアマネや事業所向けの連絡会や研修会を開催し介護事業を推進した。

介護支援センター事業については、登録者の増を目的に養成講座や交流会を実施した。基幹相談支援センター事業については受託して 1 周年を迎え、記念講演会の開催や障がい者に寄り添ったセンターを推進するため、相談事業所への支援・相談支援専門員への後方支援等を行った。また、障がいのある人が必要なときにさまざまな情報を得るために資源集「障がい福祉サービス利用手引き」や児童の障がい者理解を進める冊子も作成した。

福祉センター管理事業については、安心・安全して利用できるような管理運営に努めるとともに、利用促進を目的にふれあい交流会を 2 回開催した。

社協自主財源の確保として、引き続き「社協会員会費募集事業」を行った。また、10

月には積極的に関係役職員が街頭で呼びかけ、共同募金の増加にも努めた。

高齢者・障がい者等社会的弱者の方々にも住みよい地域福祉の推進に関係者・関係機関と連携し以下のとおり取り組んだ。

[1] 法人運営関係

法人の運営を円滑にするため下記の会議、研修会を開催した。

(1) 定例理事会の開催	1回
(2) 三役会の実施	6回
(3) 定例評議員会の開催	2回
(4) 監査の実施	1回
(5) 担当理事連絡会の開催	1回
(6) 理事・監事・評議員合同研修会の開催	1回

開催日／平成27年7月25日（土）

内 容／認知症サポーター養成講座

場 所／社会福祉センター

(7) 理事・監事・地区福祉委員会合同研修会の開催	1回
---------------------------	----

開催日／平成27年11月5日（木）

内 容／東日本大震災にかかる

石巻市社会福祉協議会の取り組みについて

場 所／石巻市社会福祉協議会（宮城県）

[2] 地域福祉事業の推進

平成7年度より取り組んでいる『小地域ネットワーク活動』は市内すべての地区で一人暮らし高齢者や高齢者・障がい者世帯等への個別支援活動や、町内会館等でのふれあいいきいきサロン活動や子育てサロン、世代間交流会などが積極的に開催された。

平成25年度から継続して行っている、「地域の暮らしを話す会」については、各地区福祉委員会を単位として開催し、地域の問題の把握や、課題解決に向けた話し合いの場の設定を行うことができた。そのことによって、対象者や時間内の出入りを限定しない、「コミュニティカフェ」型のいきいきサロン活動が始まるなど、新たな活動の広がりもみられている。

1. 小地域ネットワーク活動地区の指定

《 7 年度～》	(1) 日新地区福祉委員会連合会・・・ [4 支部]
	(2) 佐野台地区福祉委員会・・・ [4 支部]
	(3) 北中地区福祉委員会・・・ [3 支部]
	(4) 三小地区福祉委員会・・・ [3 支部]
	(5) 末広地区福祉委員会・・・ [6 支部]
《 8 年度～》	(6) 一小地区福祉委員会・・・ [8 支部]
《 9 年度～》	(7) 長滝地区福祉委員会・・・ [4 支部]
《10 年度～》	(8) 上之郷地区福祉委員会・・・ [7 支部]
《11 年度～》	(9) 大土地区福祉委員会・・・ [2 支部]

《12年度～》	(10) 長坂地区福祉委員会・・・[8支部]
《13年度～》	(11) 日根野地区福祉委員会・・・[9支部]
《14年度～》	(12) 南中地区福祉委員会・・・[4支部]
	(13) 中央地区福祉委員会・・・[6支部]
《15年度～》	(14) 二小地区福祉委員会・・・[9支部]

2. 連絡会の開催

- (1) 地区福祉委員会連絡会の開催 4回
 (2) 支部連絡会の開催 1回

3. 研修会・講座等の開催

- (1) 子育てサロン実施地区研修会・連絡会
 開催日／平成27年11月30日(月)
 内容／「地域の子育ての現状と親子への対応・支援のあり方」
 講師／泉佐野市保健センター 保健師 赤坂雅子氏
- (2) 研修会の実施(社協理事・監事合同)
 開催日／平成27年11月5日(木)
 内容／東日本大震災にかかる
 石巻市社会福祉協議会の取り組みについて
 場所／石巻市社会福祉協議会(宮城県)
 参加者／26名

- (3) 小地域を支えるボランティア講座の開催

開催日	内 容	参加者
8月11日 (火)	◆泉佐野市における小地域ネットワーク活動 ◇社会の中で助け合っていこう～共生社会について 講師：甲南女子大学 鈴木 大介 氏	10名
10月2日 (金)	◆危機一髪！地域の力で取り戻した10万円！ ◇消費者問題見守り講座 講師：消費生活相談員	14名
11月11日 (金)	◆泉佐野市内におけるコミュニティカフェ紹介 ◇リビングほしがおかの取り組み 講師：岸和田市新条地区星ヶ丘町 ふれあいリビング星ヶ丘 代表 原口 正彰 氏	25名

- (4) 小地域ネットワーク活動報告集会の開催

開催日／平成28年2月17日(水)

内容／◆実践報告

①買物困難者へのお買物支援の取り組み

/末広地区福祉委員会

② 子育てサロンの取り組みについて/二小地区福祉委員会

◆基調講演「社会で支える子どもの育ち」

講師：門戸竜二氏（俳優）

参加者 / 412名（地区関係者・福祉事業関係者・一般市民含む）

4. 小地域ネットワーク活動の実績

《個別訪問活動》

項目 支部	ネット数 (世帯)	月1回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数 (回)	延べ 訪問人数 (人)	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障がい者他			
日新地区	140	137	2	1	1,825	4,591	59
佐野台地区	189	157	31	1	6,576	9,150	120
北中地区	260	259	1	0	2,998	21,306	66
三小地区	99	89	7	3	2,991	5,603	75
末広地区	63	62	0	1	1,338	2,701	108
一小地区	202	199	1	2	3,172	5,961	203
長滝地区	51	51	0	0	1,212	2,371	62
上之郷地区	44	37	7	0	606	900	83
大土地区	38	35	3	0	460	727	57
長坂地区	171	133	22	16	3,194	5,380	124
日根野地区	169	146	23	0	2,577	3,582	233
南中地区	176	176	0	0	2,860	7,627	90
中央地区	209	206	1	2	4,166	7,864	122
二小地区	169	166	1	2	3,415	4,822	168
合計	1,980	1,853	99	28	37,390	82,585	1,570

《グループ支援活動》

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきサロン	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
日新地区	111回	84回	3回	24回	1,750人	650人
佐野台地区	75回	71回	4回	0回	1,688人	688人
北中地区	47回	33回	5回	9回	1,916人	454人
三小地区	90回	13回	5回	72回	1,298人	561人
末広地区	74回	46回	4回	23回	1,008人	408人
一小地区	317回	256回	16回	45回	8,170人	2,776人
長滝地区	46回	32回	2回	12回	758人	399人
上之郷地区	51回	35回	6回	10回	806人	344人

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきサロン	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
大 土 地 区	35回	25回	10回	0回	1,269人	185人
長 坂 地 区	227回	194回	33回	0回	4,154人	841人
日 根 野 地 区	270回	240回	9回	21回	3,732人	1,006人
南 中 地 区	106回	69回	26回	11回	1,935人	658人
中 央 地 区	151回	83回	4回	64回	1,397人	705人
二 小 地 区	334回	262回	48回	24回	5,637人	941人
合 計	1,934回	1,443回	175回	315回	35,518人	10,616人

5. 地域の暮らしを話す会の実施

地区	日 時		場 所	人 数
日新	2月 14 日 (日)	10 : 00～11 : 30	日新ミニティングルーム	26 名
佐野台	※支部ごとの開催 (小計 4回 86名)			
東佐野台	10月 2 日 (金)	13 : 30～15 : 00	東佐野台町会館	13 名
佐野台	11月 21 日 (土)	19 : 00～20 : 30	佐野台集会所	23 名
南泉ヶ丘	1月 23 日 (土)	10 : 30～11 : 30	南泉ヶ丘会館	34 名
西佐野台	2月 20 日 (土)	10 : 00～11 : 30	西佐野台町会館	16 名
北中	2月 26 日 (金)	19 : 00～20 : 30	鶴原町会館	38 人
三小	3月 6 日 (日)	10 : 00～11 : 30	旭町会館	24 人
末広	11月 10 日 (火)	19 : 00～20 : 30	東羽倉崎南町集会所	29 人
一小	2月 19 日 (金)	19 : 00～20 : 30	羽倉崎町会館	38 人
長滝	2月 10 日 (水)	19 : 00～20 : 30	長滝第一会館	36 人
上之郷	12月 17 日 (木)	19 : 00～20 : 30	上之郷小学校多目的室	16 人
大土	1月 30 日 (土)	19 : 00～20 : 30	大木小学校	32 人
長坂	9月 8 日 (火)	19 : 00～20 : 30	次世代育成交流センター	34 人
日根野	11月 15 日 (日)	19 : 00～20 : 30	日根野町会館	44 人
南中	9月 4 日 (金)	19 : 00～20 : 30	南部市民交流センター	37 人
中央	3月 12 日 (土)	10 : 00～11 : 30	葵町会館	17 人
二小	2月 22 日 (月)	19 : 00～20 : 30	福祉センター3階	22 人

延べ実施回数 17回 延べ参加者 479 人

[3] 災害に強い街づくり事業の推進

地域福祉活動支援の一環として、必要に応じて情報提供や相談支援を行った。

また平成27年1月より始まった、災害ボランティア事前登録事業については、登録者に対する継続的な情報提供と訓練を行った。

1. 関係役職員を対象とした災害発生時のシミュレーションの実施

災害救援マニュアルに基づき、災害発生時の社協職員の初期対応について再確認した。

開催日／平成 28 年 3 月 5 日（日）午前 10 時～12 時 30 分
 内容／社協災害救援センター設置に向けての初動訓練
 場所／社会福祉センター
 参加者／社協職員 13 名

2. 災害時図上訓練用マップの提供 6 地区

3. 自主防災会組織等への活動支援・出席等

開催日	地域	内容
5月9日(土)	—	泉佐野市自主防災組織連絡協議会に出席
5月24日(日)	新町	防災訓練
7月5日(日)	樫井東町	いきいきサロンにて絆づくり事業の説明
8月1日(土)	俵屋町	俵屋支部防災研修会
8月8日(土)	貝田町	絆づくり事業ワークショップ [°]
8月10日(月)	泉ヶ丘町	絆づくり事業ワークショップ [°]
8月29日(土)	笠松町	地域の絆づくり事業説明会
9月27日(日)	笠松町	地域の絆づくり事業説明
10月18日(日)	末広地区	末広地区防災訓練に参加
10月18日(日)	東佐野台	東佐野台防災訓練に参加
10月18日(日)	三小地区	三小三町合同防災訓練に参加
11月1日(日)	長瀧地区	長瀧地区防災訓練（絆づくり事業ワークショップ [°] ）
11月7日(土)	貝田町	絆づくり事業ワークショップ [°]
11月7日(土)	佐野台	絆づくり事業説明会
11月14日(土)	貝田町	絆づくり事業個別避難支援計画作成同行訪問
11月15日(日)	東上町	東上自主防災研修会
11月17日(火)	貝田町	絆づくり事業個別避難支援計画作成同行訪問
11月17日(火)	泉ヶ丘町	絆づくり事業の打ち合わせ会議
11月22日(日)	貝田町	絆づくり事業個別避難支援計画作成同行訪問
11月23日(月)	高松町	ふれあいサロンにて絆づくり事業の説明
11月23日(月)	笠松町	笠松町避難訓練に参加
11月25日(火)	長瀧地区	絆づくり事業ワークショップ [°] 役員打合せ
11月30日(月)	新安松町	絆づくり事業ワークショップ [°]
12月9日(水)	長瀧地区	絆づくり事業ワークショップ [°]
2月16日(火)	貝田町	絆づくり事業ワークショップ [°] 役員打合せ
2月27日(土)	貝田町	絆づくり事業ワークショップ [°]
3月13日(日)	—	泉佐野市自主防災組織連絡協議会講演会
3月19日(土)	貝田町	貝田町HUG運営会議に出席

4. 災害ボランティア事前登録事業

- (1) 事前登録事業 登録者 25 名
- (2) 講習会・訓練の実施

①災害事前登録事業研修会

開催日／平成 27 年 6 月 27 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分

場 所／社会福祉センター 3 階大会議室

参加者／9 名

②災害支援想定訓練

開催日／平成 28 年 1 月 31 日（日）10 時 00 分～12 時 30 分

場 所／社会福祉協議会

参加者／14 名

5. 泉佐野市安心生活創造推進事業 生活課題調整・検討会議の実施

開催回数 5 回 参加機関 4 機関

[4] ボランティアセンター事業の推進

ボランティアセンター運営委員会により、ボランティアセンターの運営及びボランティア講座・研修会やイベントの検討、開催を行った。

新規ボランティア発掘のために、はじめてのボランティア講座や、ボランティアフェスティバルの開催、登録ボランティアのスキルアップのため、ボランティア入門講座やステップアップボランティア講座の開催、傾聴ボランティア育成のため傾聴グループ「風」と共催で傾聴ボランティア講座を開催した。また、金曜日にはボランティアセンター運営委員が午前午後各 2 名交代でボランティアセンターの運営にあたった。

登録ボランティアグループ、登録施設を対象に連絡会を開催し、情報交換を行った。

また、5 名のボランティアアドバイザーがボランティアの相談にのり、施設（団体）との調整役として活動を行った。

1. 各種会議の開催

- (1) ボランティアセンター運営委員会の開催 4 回
- (2) ボランティアアドバイザー連絡会の開催（サロン開催時） 12 回
- (3) 登録ボランティアグループ連絡会の開催 2 回
- (4) 登録施設担当者連絡会の開催 2 回

2. サロン・ド・ボランティアの開設とボランティア活動のコーディネート

- (1) 個人登録ボランティア

毎月開催のサロン・ド・ボランティアにおいてボランティア活動のコーディネートを行った。平成 27 年度の 3 月末の登録ボランティアは 132 名、延べ活動人数は 2,143 名である。内訳は表のとおり。

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
保 育	木馬園	一時保育	45 名
高齢者	幸デイサービスセンター	話し相手、レクリエーション補助	41 名
	泉ヶ丘園	外出付添、レクリエーション補助	76 名
	アムリタ	話し相手、レクリエーション補助	85 名

分野	施設名	活動内容	延べ 活動者数
高齢者	グループ ホーム泉州	レクリエーション補助	123 名
	暢楽荘	レクリエーション補助	85 名
	犬鳴山荘	レクリエーション補助	39 名
	エルダーケア	レクリエーション補助	308 名
	栄公苑	レクリエーション補助	120 名
	来友館	囲碁・将棋対戦相手、 レクリエーション補助	18 名
	ラポート	レクリエーション補助	27 名
障がい者 (児)	スポーツ教室	スポーツ介助	52 名
	ぎんなん	作業補助	48 名
	ふ・ふ・ふ	作業補助	71 名
	べんきょう	作業補助	214 名
	泉友会	レクリエーション補助	10 名
	ささゆり作業所	イベント手伝い	24 名
社 協	声のボランティア	市報朗読、あいあいブラン、絆 ブラン朗読	276 名
	ボランティアセンター	相談受付、シャッピー喫茶	240 名
	行事	イベント手伝い	171 名
	サロン・ド・ボランティア	サロン喫茶	70 名

(2) グループ登録ボランティア

ボランティアグループの育成・支援するためにボランティアセンターや福祉センターの会議室や機材等の貸し出しを行い、また、社協事業において登録グループに協力を求め、外部からの派遣依頼に対しグループの紹介を行った。

3月末の登録ボランティアグループは 14 グループである。

ボランティアセンターからの活動依頼及び紹介による活動実績は下記のとおり。

グループ名	活動内容	活動回数	延べ 活動者数
ぶどうの会	おせち料理の箸袋づくり	1 回	25 名
	物品提供（社協チャリティバザー）	1 回	25 名
手話サークル いちょう	手話通訳（社協チャリティバザー）	1 回	3 名
	手話通訳（社協ふれあいクリスマス会）	1 回	2 名
	手話通訳（ボランティアフェスティバル）	1 回	8 名
リフォーム なでしこ	社協ふれあいクリスマス会プロセント制作	12 回	96 名

グループ名	活動内容	活動回数	延べ活動者数
食生活改善協議会	チャリティバザー事業手伝い	1回	5名
	ボランティアフェスティバル手伝い	1回	10名

3. 講座及び研修会の開催

(1) ボランティア入門講座

登録ボランティアが、安心してボランティア活動に参加できるようボランティア入門講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数		
			出席者	アドバイザー	合計
7月 24 日	社協 研修室	・車椅子の取り扱い、交流	5名	4名	9名
2月 3 日			3名	3名	6名
2月 19 日			1名	2名	3名

(2) ステップアップボランティア講座

登録ボランティアや受入施設（団体）が、ボランティア活動の心構えを理解することで、資質向上を図ることを目的にステップアップボランティア講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数
3月 23 日	社会福祉センター	「認知症サポーター養成講座」	54名

(3) ボランティア研修・交流会

登録ボランティアの資質向上と親睦を図ることを目的とする。

開 催 日 ／ 平成 27 年 10 月 28 日 (水)

場 所 ／ 社会福祉センター3階 大会議室

参 加 者 ／ 45名

(4) ボランティアセンター運営委員視察研修会

障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しながら共生する社会の実現に向けて、支援学校の機能と役割を学び、ボランティアセンターの向上を目指す為に開催した。

開 催 日 ／ 平成 27 年 10 月 27 日 (火)

場 所 ／ 大阪府立佐野支援学校

参 加 者 ／ 13名

4. 各種行事

(1) 障がい児者ふれあい交流会

障がいのある人もない人も同じ地域住民として、共に楽しむことのできるスポーツであるボッチャを通じて相互の理解と交流を図ることによって障がいへの理解を促進し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的として開催。

開催日／平成27年2月28日(日)
場所／オークアリーナ
内容／ボッチャ
参加者／対象者・同伴者27名・ボランティア等9名 合計36名

(2) 第37回 社協チャリティバザー

社会福祉関係団体及び協力団体・グループが、あらゆる品物を持ち寄り市価の半額程度で一般市民に販売、売上金はすべて市民の福祉活動のために使用する。

売上金 1,750,100円 (昨年比 +35,658円)

開催日／平成27年12月13日(日)
場所／社会福祉センター
内容／物品販売・オークション・喫茶コーナー等
協力者／前日 値付け 74名
当日 各種団体・ボランティア・社協関係者/合計 125名

(3) 第37回 社協ふれあいクリスマス会

障がいをもつ児童や家庭児童相談員が関わっている子ども、両親のいない児童や交通遺児を対象に開催。

開催日／平成27年12月19日(土)
場所／泉の森ホール レセプションホール
内容／紙芝居・人形劇・市職員有志による生バンド
参加者／対象児童66名・同伴者99名・ボランティア71名
合計 236名

5. 登録ボランティアグループ作業室利用件数

	AM	PM	計		AM	PM	計
4月	6	11	17	10月	6	10	16
5月	6	11	17	11月	6	10	16
6月	6	9	15	12月	5	9	14
7月	4	8	12	1月	3	7	10
8月	1	4	5	2月	5	8	13
9月	5	8	13	3月	6	10	16
				合計	59	105	164

6. 善意銀行 寄託・払い出し状況

寄 託 件 数	34件
寄 託 金 額	1,904,116円
寄 託 物 品	ベルマーク、車椅子、飲料水、ペットボトルキャップ

払い出し件数	9件	
払 い 出 し 金	① 障がい児のためのサマースクール ② 泉佐野市ディスコン協会 ③ 社協だより発刊 ④ ボランティアフェスティバル開催諸費 ⑤ チャリティバザー開催諸費 ⑥ ふれあいクリスマス会開催諸費 ⑦ おせち料理 ⑧ 障害児者ふれあい交流会 ⑨ 心配ごと相談事業	50,324 円 10,324 円 327,063 円 140,324 円 63,940 円 204,917 円 35,000 円 8,420 円 204,244 円
	合 計	1,044,556 円

[5] 総合相談事業の推進

『心配ごと相談所』の相談実績は以下のとおりで、内容に応じて関係機関等と連携し、問題解決の調整を行なった。

1. 心配ごと相談所の開設

相 談 員 数	13名
開 設 延 日 数	43日（うち出張相談1日）
出席延相談員数	93名
相 談 者 数	15名（うち出張相談3名）
相 談 件 数	19件（うち出張相談3件）
相談員連絡会議	5月11日(月) 社協2階研修室
出 張 相 談	11月24日(火) 相談員10名 イオンモール日根野

※相談状況

対象者\内容	家族 関係	人 間 の 関 係	病 気	法 律	金 銭 関 係	そ の 他	計
高 齢 者	4	2	1	0	2	2	11
障 が い 者	0	1	0	1	0	1	3
子育て中の親	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	3	0	0	1	0	1	5
計	7	3	1	2	2	4	19

※対応

傾聴 9件

助言 1件

他機関紹介 9件（市役所1件、地域包括支援センター1件、CSW2件

ボランティアセンター1件、市法律相談2件、岸和田法律相談センター1件、女性センター1件）

[6] コミュニティソーシャルワーク推進事業

今年度よりCSW事業の管理者となり、委託先の各法人CSWをおおむね中学校区に配置し、緊密な連携をとりながらCSW事業の体制強化とネットワークの構築を行った。また、学識者のスーパーバイズや連絡会議を通じて、事例検討や地域診断を行なう等CSWのスキルアップを図り、複雑な課題を抱えている要援護者の発見・つなぎ・見守りの機能強化を行った。

1. 各種会議の開催

- | | |
|------------------|-----|
| (1) 管理者連絡会の開催 | 2回 |
| (2) スーパーバイズ会議の開催 | 10回 |
| (3) CSW連絡会議の開催 | 4回 |

2. 地区担当CSW活動支援（統括CSW）

【地区担当CSW】

社協（新池中校区）・水平会（第三中校区）・泉ヶ丘福祉会（佐野中校区）
常茂恵会（長南中校区・日根野中校区）

- | | |
|----------------------|-----|
| (1) 地区CSW後方支援（個別ケース） | 58件 |
| （個別ケース以外） | 16件 |
| (2) 地区CSWへのつなぎ | 22件 |
| (3) ケース検討会議 | 23件 |

3. 新池中学校区活動実績（個別相談）

(1) 対象者別

相談対象者	延べ件数	実件数
高齢者	361	24
1人暮らし	310	18
高齢者のみ世帯	42	5
その他高齢者	9	1
障がい者	596	8
身体障がい者	24	1
知的障がい者	26	1
精神障がい者	546	6
子育て中の親子	10	2
一人親家庭の親子	0	0
青少年	0	0
DV被害者	44	3
ホームレス	0	0
外国人（中国帰国者を含む）	0	0

相談対象者	延べ件数	実件数
その他	134	11
低収入（無職含む）	2	1
引きこもり	0	0
障がい疑い（疾病疑い）	0	0
DV加害者、虐待	87	3
その他	45	7
合 計	1,145	48

(2) 相談内容別

相談内容	対応延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談	155
生活に関する身近な相談	385
健康・医療に関する相談	339
生活費に関する相談	92
就労に関する相談	38
財産管理・権利擁護に関する相談	6
多重債務に関する相談	2
DV・虐待に関する相談	69
地域福祉・ボランティアに関する相談	81
住宅に関する相談	9
子育て・子どもの教育に関する相談	2
その他	421
近隣トラブル（人間関係）	250
家族関係	152
その他	19
合 計	1,599

[7] 在宅福祉活動の推進

在宅で安心して生活し続けるための一助にと取り組んだ『高齢者給食サービス事業』は、市内に設置されている福祉施設（団体）や民生委員児童委員等との連携をはかりながら実施することができたが、今年度で事業を終了することになった。

公的サービスで支援できない在宅要援護者の生活上の困りごとを支援するために、『有償協力員派遣事業』（おたがいさまの会）では本年度より派遣開始した。

その他、外出困難な高齢者や障がい者等に対して『福祉車両』及び『車椅子』の貸し出しを行なった。

1. 高齢者給食サービス事業

(1) 普通給食の配食	毎週火曜日（昼食）
給食利用者数	50名
延給食実施回数	35回
延配食数	1,240食
(2) おせち料理の配食	12月31日
配食数	35食
(3) 調理補助ボランティア活動数	延べ138回
(4) 給食サービス事業調理協力施設（団体）連絡会議の開催	2回
(5) 給食調理補助ボランティア連絡会議の開催	3回
(6) キイステーション連絡会の開催	2回

2. 福祉車両貸し出し

利用者数 7名／貸出回数 延べ16回

3. 車椅子貸し出し

利用者数 9名／貸出回数 延べ23回

4. 有償協力員派遣事業「おたがいさまの会」

(1) 会員の登録状況

協力会員／21名 利用会員／6名

(2) 支援状況 延べ36時間

(3) 協力員連絡会の開催 4回

[8] 地域包括支援センター事業の推進

「高齢者が安心して地域で生活を送ることができる」ことを目的に各事業に取り組んだ。総合相談窓口として、本人・家族・他機関からの相談を受け、関係機関・多職種との連携支援を行った。

介護予防業務として、高齢者が要介護状態にならないように要支援者などに介護予防計画の作成や介護予防に関する講演会の開催。また、地域からの希望テーマに合わせた出張講座などを実施した。高齢者・家族を支援する地域の多職種、関係機関との会議や研修、支援を行った。

認知症施策総合推進事業として、認知症の人やその家族の方などが一息できる場としての認知症カフェの開催や安全・安心に生活できるよう認知症サポーターを養成し、徘徊者を探すシステム徘徊SOSネットワークの南泉州圏域に参画した。

1. 支援の基盤整備

(1) 地域包括ケア会議の開催

開催回数 2回 参加機関 15機関

(2) 高齢者虐待早期発見・見守りネットワーク

会議 1回 参加機関 17機関

研修会 1回 参加人数 152人

高齢者虐待防止活動

高齢者虐待通報への対応件数 54件

個別ケース会議開催数 33回

(3) 多職種連携会議

参加機関 13機関

研修会 ①りんくう愛たいネット(泉佐野市田尻町多職種連携交流会)

3回 参加人数 213人(延べ)

②泉佐野泉南医師会圏域研修会

1回 参加人数 184人

2. 総合相談・権利擁護

(1) 相談状況

相談実人数	695人		
相談延べ件数(対応回数)	4,853件		
相談形態内訳	訪問	933	19.2%
	来所面接	636	13.1%
	電話	3,284	67.7%

(2) 相談内容

相 談 内 容	件数	割合
介護保険関係	介護保険制度	392 4.5%
	ケアプラン	792 9.0%
	サービス	1,000 11.4%
	施設入所	201 2.3%
	小計	2,385 27.2%
介護保険関係以外の 福祉サービス	緊急通報装置など(福祉制度)	71 0.8%
	ボランティアなど(制度外)	61 0.7%
	小計	132 1.5%
医療・保健相談	保健予防	43 0.5%
	入退院など(医療)	561 6.4%
	小計	604 6.9%
家庭介護・介護者支援	認知症	1,036 11.8%
	身体介護	17 0.2%
	精神介護	66 0.8%
	家庭環境	1,390 15.9%
	小計	2,509 28.7%

相談内容		件数	割合
権利擁護	成年後見制度など	140	1.6%
	財産・経済問題など	849	9.7%
	虐待関係	1,520	17.4%
	地域トラブルなど	53	0.6%
	小計	2,562	29.3%
その他生活上の相談	社会生活など	213	2.4%
	他	352	4.0%
	小計	565	6.4%
合計		8,757	100%

(3) ブランチ型総合相談業務

委託事業所 5か所 年間相談件数 217件

- ・犬鳴在宅介護支援センター
- ・在宅介護支援センター 泉ヶ丘園
- ・在宅介護支援センター ホライズン
- ・在宅介護支援センター 和
- ・ラポート在宅介護支援センター

活動内容 高齢者の相談窓口 虐待・対応困難事例の支援

地域包括ケア会議・高齢者虐待防止ネットワーク会議への参加

3. 包括的・継続的ケアマネジメント

(1) 介護支援専門員に対する支援

ケアマネジャー支援件数 691件

(相談内容)

支援数	支援内訳(延べ)				
	ケアマネジメント	社会資源紹介	主治医連携	虐待防止	その他
691	678	10	11	400	104

(2) 事業所向け研修会

開催日	内 容	参加人数
5月18日(月)	事例検討会	19
9月18日(金)	事例検討会	12
10月16日(金)	ケアマネジャーのつどい	53
1月18日(月)	事例検討会	15

開催日	内 容	参加人数
3月14日(木)	研修会 ①権利擁護の重要性 ～認知症高齢者の事例から考える～ ②虐待対応における個人情報の取り扱い ③泉佐野市高齢者虐待予防サポートファイルについて ④地域の絆づくり登録制度の説明	78

(3) 介護支援専門員連絡会活動支援

会議 5回

6市町村ケアマネジャー合同連絡会 2回

4. 介護予防マネジメント

要支援者・二次予防事業対象者に対する介護予防ケアプランの作成

要 支 援 者：介護予防計画延べ作成件数 9, 693件

(内訳) 包括作成 1,808件 委託件数 7,885件

二次予防事業件数：介護予防計画アセスメント件数 69件

5. 出張講座・介護予防教室等

介護予防・認知症・高齢者虐待・消費者被害などに関する内容 15回実施

延べ468人

6. 平成27年度介護の日 記念講演会

開 催 日 ／ 平成27年11月28日（土）午後1時～4時

場 所 ／ 社会福祉センター 3階 大会議室

内 容 ／ 第1部

講演「軽度認知障害と認知症の理解と介護」

講師 山本 秀樹氏（神経内科医・池田市本町診療所所長）

第2部

講演「認知症高齢者の介護 家族の声」

講師 坂口 義弘氏

(公益社団法人 認知症の人と家族の会 大阪支部代表)

参 加 者 ／ 61名

7. 介護支援サポーター事業

登録者数	活動回数(延べ)
42名	261回

(1) 介護支援サポーター交流会

開催日	内 容	参加者数
7月30日(木)	受入施設との交流	10人 (うち 2施設3人)

開催日	内 容	参加者数
10月26日(月)	介護支援サポータースキルアップ研修 講師：大阪教育大学 新崎国広氏	17人 (うち 8施設9人)
2月29日(金)	受入施設との交流	14人 (うち 6施設6人)

8. 認知症施策総合推進事業

(1) オレンジカフェいづみさの（認知症カフェ）

毎月1回 13時30分～15時30分 社会福祉センター3階

12回開催 延べ236人参加

開催日	参加人数	内 容
4月24日(金)	17	「認知症介護・支援について」 「認知症の関わりと受診について」 「日ごろ不便や不安に感じること」 「在宅生活を続けるには」 「地域や社会がどんな風になればいいか」 「オレンジカフェのあり方について」 などのグループワーク
5月20日(金)	22	
6月19日(金)	25	
7月19日(金)	6	
8月28日(金)	20	
9月18日(金)	16	
10月30日(金)	19	
11月20日(金)	19	
12月18日(金)	19	
1月15日(金)	22	
3月18日(金)	12	
2月26日(金)	39	講演 「認知症の症状や予防対策と 認知症の方への対応」 講師：ゆたかクリニック 院長 貴志 豊 医師

(2) 認知症カフェ運営スタッフ 交流会

月 日	参加人数
6月24日 (水)	8人
12月4日 (金)	8人

(3) 認知症ケアパス活用と充実

(4) 認知症サポーター養成講座

開催回数 16回 養成サポーター数 517人

(5) 徘徊SOSネットワーク事業

- B i z F A X の導入とテスト配信、泉州南圏城市町村徘徊高齢者等ネットワーク要綱変更に伴うアンケート調査実施

- ・泉州圏域市町村徘徊高齢者等ネットワーク会議への参画
- ・事業普及啓発のチラシ配布
- ・事業協力機関周知のためのシール配布

[9] 基幹相談支援センター事業の推進

「基幹相談支援センターあいと」の名称で障がい者とその家族が地域で安心して暮らせる取り組みを行った。

相談件数としては、市の窓口相談数を上回った。障がいサービス利用者に対して、平成27年3月31日までにサービス等利用計画を作成する目的は100%達成した。

平成28年4月1日から新たに障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律「障害者差別解消法」が施行されるので、それにあわせて市民に向けてひろく周知できるように啓発用の冊子を用意した。

1. 基幹相談支援センター業務

(1) 総合相談とスクリーニング機能

身体障がい、知的障がい及び精神障がい等に対応した総合相談窓口の設置並びに特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所への適切なつなぎを行なった。

●相談状況

相談実人数	191人	
相談延べ件数（対応回数）	2,157件	
相談形態内訳	訪問	135件
	来所面接	195件
	出張相談	7件
	同行	32件
	電話	744件
	メール	35件
	関係機関連絡調整	899件
	個別支援会議	88件
	その他	22件

●相談内容

相談内容	延べ件数
福祉サービスの利用等	806件
障がいや病状の理解	200件
健康・医療	167件
不安の解消・情緒安定	266件
保育・教育	2件
家族関係・人間関係	113件

相談内容	延べ件数
家計・経済	62件
生活技術	7件
就労	26件
社会参加・余暇活動	48件
権利擁護	287件
その他	77件

(2) 相談支援事業所に対する後方支援（専門相談機能） 延べ411件

(3) 自立支援協議会の事務局運営

事務局会議 12回

全体会・定例会・部会他会議の運営 27回

啓発イベント（わ∞ねっとシンポジウム） 1回

(4) 事業所連絡会のコーディネート

事業所連絡会並びに研修会開催 5回

(5) 開設1周年記念の開催（わ∞ねっとシンポジウム）

日 時 / 平成27年12月6日 レイクアルスター・ラザ・カサキ生涯学習センター

内 容 / 障がいを理由とする差別のない、共に生きる社会をめざして

参加数 / 75名

2. 障がい者虐待防止センター業務

通常業務の他、休日夜間対応の通報ダイヤルを設置し障がい者虐待に関する相談・通報を受け付けた。

障がい者虐待に関する相談：延べ128件

3. 権利擁護支援センター業務

社協内の連携強化や啓発に向けての準備を行う一方、活動を開始した市民後見人の支援などを行った。

センターの相談受付件数が前年度より約32%増え、包括で1.2倍・基幹で1.7倍・CSWでは3倍となっている。これは各相談窓口の認知度が高まってきたことと、3機関が連携して動くことで各方面からの相談が増えたためと考える。

センター会議であがつた課題から、相談窓口で説明しやすい泉佐野市の状況に合わせた成年後見制度のパンフレットを作成し、啓発活動では研修を開催しやすいように内容のパック化を図り、また社協内での情報共有会議の仕組みを整備した。

市民後見人については、3名が家裁に選任されて後見人としての活動を開始したため、その支援の比重が大きくなっている。今年度の養成講座の参加者が2名ともバンク登録となったため、すでに受任・登録している人を含めて10名のバンク登録者を確保した。

(1) 相談事業

・基幹・包括・CSWからの相談 2,553件

・社協共有会議の開催	10回
(2) センターアクション	
・開催回数	13回（うち2回：市の関係課長参加）
(3) 法律相談	
・開催回数	15回（メールや電話含む）
・個別相談	46件
(4) 市民後見人関係：受任者3名・バンク登録者10名（受任者含む）	
会議（民後見会議担当課との打ち合わせ・受任調整会議への参加）	9回
養成（養成講座・修了時面接・バンク登録者研修への参加）	12回
活動支援：専門相談（大阪後見センター専門職への相談）	14回
活動支援：来所・訪問での対応	23回
活動支援：電話での対応	97回
広報（チラシ・ポスター配布、社協便り・ブログ等）	
(5) 啓発活動	
・成年後見制度のパンフレット作成	
・研修パックの作成	
「成年後見制度について」・「ここが知りたい！成年後見制度」・「権利擁護のひとつのかたち～成年後見制度～」・「権利擁護支援センターの活動と実際」・「権利擁護支援と相談支援」	
(6) 研修開催・講師派遣	
開催日	内 容
4月23日(木)	更生保護女性会研修 「市民後見人について」
5月11日(月)	手話通訳者研修 「市民後見人について」
7月2日(木)	保健所・保健センター合同人権研修 「成年後見制度と日常生活自立支援事業」
8月28日(金)	事業所連絡会 「権利擁護支援センターの活動と実際」
9月1日(火)	ケアマネ部会 「権利擁護支援と相談支援」
10月9日(火)	事業所連絡会 「権利擁護のひとつのかたち～成年後見制度～」
7月2日(木) 10月15日(木) 11月25日(水) 2月24日(水)	市職員人権研修 「成年後見制度について」

[10] 広報宣伝活動の推進と備品の貸し出し

社協機関紙「社協だより」を年6回発行し、社協活動をPRするとともにホームページ、ブログにより広く情報提供を行った。また、地域の福祉活動を応援するべく、社協備品の

貸し出しを行った。

(1) 社協だよりの発行 年6回(5月・7月・11月・1月・3月)

(2) 社協ホームページの運営 年間閲覧件数 68,427件

[11] 日常生活自立支援事業の推進

判断能力の十分でない認知症高齢者や障がいのある方を対象に、契約によって、生活の相談に応じたり、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等のサービスを行うことで、自立した生活がおくれるよう支援を行っている。

なお、成年後見等開始の審判市長申立については、市と連携を図っている。

※ 契約・活動 件数

内 容	本事業の利用に関するもの			合 計
対象者 状況	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	
活 動 件 数	428	591	451	1,470
新規契約件数	1	3	3	7
契 約 件 数	16	18	12	46

[12] 社会福祉協議会会員組織の充実と自主財源の強化

社協会員会費制度の継続加入を図り、各町内会・福祉委員会他、福祉関係団体の協力を得て、7,677,500円(昨年比-16,300円)の浄財が寄せられた。そのうちから、地域の福祉活動に利用していただく為、会員会費の50%を還付した。さらに、地区福祉委員会活動に10%還付した。

協賛会員制度については、290,000円の浄財が寄せられた。

1. 各地区・社協会員会費募集状況

一 小 地 区	1, 545, 000 円
二 小 地 区	540, 000 円
三 小 地 区	765, 000 円
日 新 地 区	1, 101, 500 円
中 央 地 区	400, 000 円
長 滝 地 区	495, 000 円
北 中 地 区	860, 000 円
南 中 地 区	260, 000 円
長 坂 地 区	370, 000 円
佐 野 台 地 区	581, 000 円
上 之 郷 地 区	250, 000 円
日 根 野 地 区	300, 000 円
末 広 地 区	120, 000 円
大 土 地 区	90, 000 円
合 計	7, 677, 500 円

2. 協賛会員会費募集状況 (1口 10,000円)

泉佐野市長生会連合会	社会福祉法人 いちょうの森
社会福祉法人 光会	社会福祉法人 常茂恵会
社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会	社会福祉法人 水平会
社会福祉法人 犬鳴山	社会福祉法人 和泉の国
社会福祉法人 清光会	泉佐野地区 保護司会
社会福祉法人 来友会	泉佐野ルーテル保育園
社会福祉法人 アムリタ	社会福祉法人 あおい会
社会医療法人 栄公会	社会福祉法人 杉の子会
社会福祉法人 日新親友会	社会福祉法人 日根野福祉会
社会福祉法人 清和保育園	社会福祉法人 幸楽会
NPO法人 いきいきくらぶ	泉佐野ロータリークラブ
社会福祉法人 みやび	土丸町会
民生委員児童委員協議会	大木町内会
泉佐野商工会議所	株式会社日王
大阪いずみ市民生活協同組合	

[13] 共同募金事業の推進

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動として広く市民に協力を呼びかけ、戸別募金、街頭募金（13回）等を実施した。市内小中学校にも協力を依頼し小学校6校にて児童による募金活動が行われた。

募金額 2,804,256円（昨年比 +97,568円）

2. 歳末たすけあい運動

“地域でささえあうあつたかい地域づくり”のスローガンにもとづき、「歳末たすけあい運動」を実施した。多くの浄財が寄せられ、ひとり暮らし高齢者の交流会やおせち料理の配食、児童が書いた年賀状の送付などに配分をし、福祉の増進に役立たせていただいた。

募金件数 63件 募金額 1,165,384円（昨年比 -47,614円）
払出金額 771,825円

[14] 低所得世帯への支援

低所得者世帯や高齢者・障がい者世帯、生計中心者が失業した世帯に対して、大阪府生活福祉資金貸付の窓口として相談を受け付けるとともに、必要に応じて民生委員につなぐなど、世帯の経済的自立を助けた。

相談者への支援については、本年度より泉佐野市で事業が開始された生活困窮者自立相談支援事業と連携しながら行った。

相談件数	294 件		
貸付種類	生活福祉資金 (総合支援資金を除く)	総合支援資金 ※臨時特例つなぎ資金含む	小口生活資金
申込件数	21 件	1 件	2 件
申込金額	12,621,000 円	450,000 円	200,000 円

[15] 市立社会福祉センターの管理運営

社会福祉センターの管理運営業務を受託し、施設の環境を整備するとともに利用者が快適に利用できるよう、設備機器の保守点検を委託契約した。

浴場水ろ過設備の炉材入替及び配管洗浄を行いレジオネラ症防止に努めた。また、職員研修では、自衛消防訓練、人権研修等を実施し、職員の意識向上を図った。

1. 高齢者・障がい者交流会及び研修会の開催

開催日	研修会名	参加人数
9月30日(水)	坂本冬美&天童よしみ そっくりさん歌謡ショー 老人福祉センター1階 大広間	120人
2月12日(金)	番匠谷紗衣ミニライブ ・シャッピ一体操と社協リーフレット紹介 ・甘酒(無料)の振る舞いなど	102人

2. 福祉センター利用状況

風呂利用者数	娯楽室利用者数
8,151人	12,018人

会議室利用件数

	第1会議室	第2会議室	大会議室	合計
午前	127件 1,309人	137件 1,198人	203件 9,127人	467件 11,634人
午後	220件 2,755人	180件 1,855人	192件 8,339人	592件 12,949人
夜間	140件 2,551人	26件 377人	16件 1,630人	182件 4,558人
合計	487件 6,615人	343件 3,430人	411件 19,096人	1,241件 29,141人